

各委員の意見集約表（県民会議）

書面による意見 県民会議(5/16)での発言

【 】は事務局で対応出来る内容

項目		各委員からの意見(要旨)	委員名	県民 会議	施策 調査	市民 事業	事務局	たたき台	
県民会議	全体	進め方	今回のような行政主導的な県民会議ではなく、委員が納得できる運営をすべき。	増田				委員主体の会議運営に努めます。	
			専門委員会と県民会議の流れが見えるようにし、意見のとりまとめには時間を惜しまないようにしてほしい。	倉橋				会議の論点を明確にするなど、効率的な会議運営に努めます。	
		県民主体		知事が今日もあいさつで、「協働力」と言っていたが、今日の会議の進行も協働になっていないし、従来の形と変わっていないと感じた。そもそも県民会議とは何なのか。知事が言われた参加型税制の先進性を神奈川は作っていくというのであれば、もう少しやり方を考えていただいてもよいのかなと思う。公募委員は、意気込みを持って参加している。主体はどこなのかを再確認して欲しい。	長谷川				県民の意見を代表する公募委員が県民会議で果たす役割は非常に重要であると考えますが、有識者、関係団体も同等であり、県民会議委員として水源環境保全・再生の取組をよりよいものにするために、それぞれの立場、視点からご意見をお願いします。
				2001年から始めた出前懇談会を皮切りに、多くの県民参加の議論が行われた結果の「水源環境保全・再生施策大綱」であるので、県民会議の主体となるべきは「県民の意志」であり、有識者委員にはアドバイザーボードとして提言、助言、助力をいただくのがよい。	長谷川				
				県民会議の委員は、県民の意志をいかに反映し、基盤とすることができるかに常に注力することが求められている。	長谷川				
		機能	広く県民から意見を求めるとした公募委員の立場からすると、県民会議に提案されたものに対して、どの程度意見が反映できるのか知りたい。	真覚				事業評価や県民への情報提供を通じて、事業の執行方法等に反映します。実施する事業、予算は、実行5か年計画や県条例で定めているので、5年間は難しい面があります。	
	役割	専門委員会以外の委員に何を期待しているのかわからない。	真覚				役割を明確にします。		
	運営	会議回数	年3回の会議だけでなくもう少し何とかならないか。	天内				県民会議の検討事項 【1回増やすことは可能です】	
			会議時間を2時間とする設定は無理がある。また、会議開催が年3回というのは、少ない。2ヵ月に1回のペースが必要ではないか。	坂本					
		開催場所	私のところの森林活動の8割くらいが、活動に特化しているが、森は遠くから見るときれいだが、中に入ると、本当にひどい状態。やはり森の中に入って、見て欲しい。	石村				県民会議の検討事項 【学習会・現地視察など対応は可能です】	
			県民会議は、地域の現状を知ることが大事なので、是非、水源地域で視察を兼ねて開催して欲しい。	坂本					
			県民会議を水源地域で開催し、現状等を視察してはどうか。	瀬戸					
		県民会議以外の会議開催	意見集約と交流を兼ねて公募委員単体で会議を開催してはどうか。	坂本					
			県民会議以外で、ざっくばらんに質問のできる場を設けてほしい。	吉村					
			対象となる河川、森林の状況を把握する必要があると思うので、県民会議メンバーを対象に現地視察、関係団体の体験発表、県担当職員による講義など開催してはどうか。	片山					
		会議資料	水源環境の現状、水源税導入の経過、今後の目指す方向・方法等について学習会を開催して欲しい。	坂本					
			会議資料は、1週間前には各委員に配布し、委員は目通しをして望み、欠席の委員は、会議前日までに書類で意見を提出する。	高橋(弘)					資料は、事前にお配りするよう努めます。
			県民会議における情報の共有化はもちろん、会議資料も事前に配布されるべき。	長谷川					
		開催日程	委員に比較的少ない若年層が入りやすい仕組みや日程調整をお願いします。	吉村					平日の夕方、夜の開催も含めて検討します。
		その他	出席する部署を絞り必要最小限の出席とする。	高橋(弘)					会議の内容に応じた出席者とします。
会議に供される飲料水は、「水源の水」を配布するのが望ましい。			高橋(弘)				委員のご要望に応じ対応します。		
各委員の席に、鉛筆・メモ・封筒が置かれているが、もったいないのでやめるべきだ。	高橋(弘)					委員のご要望に応じ対応します。			
会議の謝礼、18,000円は高すぎないか。	坂本					県の規定により支出しておりますが、当基金への寄付も可能です。			

各委員の意見集約表（県民会議）

書面による意見 県民会議(5/16)での発言

【 】は事務局で対応出来る内容

項目			各委員からの意見(要旨)	委員名	県民 会議	施策 調査	市民 事業	事務局	たたき台	
県民会議	公募委員	関わり方	施策に国有林との連携を謳っているのに、国有林関係者も同席すべき。	吉村					県民会議で、オブザーバー参加等検討ください。 【今期の県民会議の委員は決定しており、参画はできません。 オブザーバー参加の呼びかけは可能です。】	
			県民会議の活動を広報していく時に、都市部の人に関心をもってもらうかが課題だと思う。横浜、川崎の行政は、（県民会議に）入っていない。横浜市の環境創造局や水道局にも入ってもらうのがよいと思う。	牧島						
			委員30名は、会議の進行から無理があると思うので、県民フォーラム開催の3地区程度に縦割りにして分科会を結成し、検討、意見交換（フォーラム含む）、その意見集約として県民会議（全体会）を開催するのはどうか。	坂本						県民会議の検討事項 【対応可能な具体例】 学習会 ↓ ウォッチする5か年計画事業の集団化（3～4のグループ） ↓ 担当委員の決定 ↓ 県民視点からの事業ウォッチの仕方の検討・現場聞き取り ↓ 事業評価のたたき台（専門委員会で調整） ↓ 県民会議で議論 ↓ フォーラム等で発表、県民への発信 課 題 ・12事業の実施主体との議論をいつ行うか。 ・予算の制約が有る。
			別に緊急課題プロジェクトをいくつか設け、希望するプロジェクトに参加する。	天内						
			専門委員会の内容をどう伝えていくかものすごく大きな課題。委員会ではなくても、何らかのワーキンググループを考えてほしい。	牧島						
			公募委員も事業の中身に触れる機会や発言する機会が必要であると感じた。個々の事業にワーキンググループを設置して、一般委員の方と専門委員と一緒に議論してほしい。	浅枝						
			公募委員は、書類審査、面接審査を受けてきた。水源環境問題について、議論したくて参加している。公募委員を使って欲しい。	高橋(弘)						
座して議論に参加するにとどまらず、公募委員としても調査や活動を含むフィールドワーク的な役割にも参画したい。	真覚									
公募委員の思いをこの事業にどう反映できるか、また、フォーラム活動を進めるに当たって、県の他の人たちの思いをどう反映させられるかということに公募委員が関わっていけるような仕組みを作って欲しい。	天内									
県民会議に参画する公募委員の主体的、積極的、納得性の高い活動、何よりも楽しく活動できることが重要。	長谷川									
水源環境保全・再生の取組（課税の意味を含む）をより多くの県民に分かって、理解して、納得して、協力してもらえるのが重要であり、これを踏まえて公募委員は、今後の運営にしっかり参加する必要がある。	高橋(二)									
原案の立案は、有識者、行政職員が助言しながら、公募委員が素案を作成する試みも検討してほしい。	長谷川					県民会議の検討事項				